

住民の声

地域で頑張っている方たちの声をお聞きしたく、今回は、市野瀬地区をお伺いしました。

市野瀬地区は、町内を通る国道56号沿いの最東部に位置し、戸数17戸、人口約40人の小集落です。

当地区では、稲作が盛んに行われ、品種は主に「ひのひかり」とのことです。この米はもともと味が良い上に、この地域の気候や水のお蔭で大変おいしいお米に仕上がるとのこと。また、この品種は植え付け時期が遅いため、当面、ゆっく



▲地域の守り神「河内神社」



▶区長を交えて世間話にも花が咲きます！

りできるとのことでした。

他方、地区長の「地区の状況は、夕食時に来れば分からあよ」との言葉は、地区の空き家の厳しい現状を物語っていて、胸にせまるものがありました。ですが、地区でお会いする方々の表情はにこやかで、初対面の方にも温かく、気さくに接するその姿に、その「土地柄」の良さを感じました。お伺いした3月下旬には、



山桜が山肌

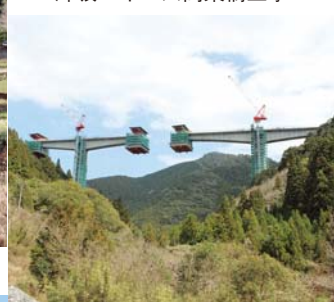
に色を添え、

春のおとず

れを告げて

いました。

▼当地区の上流部で進む片坂バイパス高架橋工事



▲休耕田を再活用している棚田



▲黒潮町の東の玄関口、片坂の上り口に位置する市野瀬地区

♡ 矢野良幸 区長の声 ♡

当地区は、大変に少子高齢化が進んだ集落ですが、戸数が少ない故か、住民の仲が良く、面倒見の良さを感じます。

また、古くからの慣習がよい意味で残っていて、地区のまとまりが良く、夏秋の神祭も賑やかにを行っています。

これらは、毎年、4月上旬に地区で開催している「敬老会」を、先日の地区内の不幸により延期したこ

とも表れています。

近年、少子高齢化による空き家や休耕田が多くなり、地区の課題となっていますが、兼業での米作りへの挑戦や、佐賀の明神水産が休耕田などで米作りに取り組むなど、新しい動きも出てきており、今後に期待しています。

議会や行政への一言ですが、このような状況下で支え合い、頑張っている小集落の課題解決に向けて、より一層の取組みをお願いします。

編集後記

当町の標準的に見込まれる一般財源の規模は50億円ほどですが、ここ数年、防災や庁舎移転関連などで大型予算が続ぎ、平成28年度一般会計当初予算は、過去最大の120億円ほどとなりました。予算規模は今後2年間でピークで、工事関係業者も町職員もマンパワー不足の状況が続くと見込まれています。

一方、本来ある課題として、少子高齢化や過疎化などの大きな課題も山積しています。

この大きな波の中、こういう状況下だからこそ、住民の皆様と共にそれぞれの立場で知恵を出し合い、この機をチャンスにしていかなければならないと、気を引き締め直しているところです。

広報委員一同

議会広報常任委員会

委員長	宮川 徳光
副委員長	藤本 岩義
委員	浅野 修一
同	池内 弘道
同	宮地 葉子
同	山崎 正男

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会
■編集 黒潮町議会広報常任委員会
■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 2019-1
■発行日 平成 28 年 5 月 1 日
TEL (0880) 43-2111 (代)・(0880) 43-2831 (直)